

授業科目名 <英訳>	東洋史IIIB Oriental History IIIB		担当者所属 職名・氏名	国際高等教育院 教授 岩井 茂樹			
群	人文・社会科学系科目群	系列	歴史・文明系（基礎論・東洋）		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義
開講年度・ 開講期	2015・後期	曜時限	木5		配当学年	全回生	対象学生 全学向

#### [授業の概要・目的]

東アジアの諸地域のあいだにどのような関係があったのか、とくに日本と他国との関係の歴史について学びます。古代における国際関係について簡単に紹介したのちに、10世紀から19世紀におよぶ時期について、基本的な資料を提示しながら講義をすすめます。東洋史IIIAが近代を対象とする講義として開講されます。東洋史IIIBは近代以前を取り扱いますが、それぞれ独立した科目です。この2科目を受講することによって、理解が深まることが期待されますが、講義はそれぞれで完結しますから、連続して受講することは必須ではありません。

#### [到達目標]

日本の社会や日本という国は、隣接する地域からの人の移動や文化の伝播、政治・軍事的なつながりのなかで歴史を刻んできました。広い視野から日本の文化の成り立ちや過去の歴史について理解を深めるとともに、中国という大国が周辺地域に及ぼしてきた影響、皇帝が天下＝世界の中心だとする中華的世界観とそのもとにおける国家・地域間関係の実態などの事柄について、歴史学がどのような方法と視点をもって接近するのか、この講義をつうじて習得することができます。豊富な深い知識を得ることだけでなく、歴史学という学問がどのような手続きや態度によって研究を実践するのか体得してもらえます。

#### [授業計画と内容]

week1 導入

week2-week4 古代における東アジア地域間接触の概要

- 1) 金印と「東夷傳」は何を語るか
- 2) 「倭の五王」と日本・朝鮮関係
- 3) 隋唐帝国の形成と東アジア

week5-6 10-12世紀にあらわれた関係の変化

- 4) 唐から宋へ（唐宋変革）
- 5) 宋の対外関係
- 6) 市舶司と貿易の隆盛

week7-8 モンゴル帝国の出現と周辺地域

- 7) モンゴルと日本との交渉と戦争
- 8) 帝国と貿易・商人

week9-10 明の建国とその朝貢体制

- 9) 明の「朝貢一元体制」
- 10) 朝貢と貿易

week11-14 交易の時代における関係の枠組み

- 11) 中国辺境の交易ブーム
- 12) 海禁のゆらぎ

-----  
東洋史IIIB(2)へ続く

東洋史ⅢB(2)

- 13) 「倭寇」と貿易問題  
14) 明清交替と周辺地域

**【履修要件】**

特になし

**【成績評価の方法・観点及び達成度】**

筆記試験をおこないます。基本的な知識を問う小問と、論述の能力を評価するための大問とを組み合わせ出題します。

**【教科書】**

資料を配付します。

**【参考書等】**

(参考書)  
授業中に紹介する

**【授業外学習(予習・復習)等】**

毎回、1～2冊、お勧めの参考書を紹介します。講義よりもさらに深い知識を得たい方は読んでみてください。予習や前提となる#27511史知識はとくに必要ありません。誰にでも分かるように講義します。

**【その他(オフィスアワー等)】**

分からないことや疑問点があれば、どしどし質問してください。